

環境調査結果のお知らせ

令和5年1月24日午前に野見湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が15.4～16.2℃、塩分が34.2～34.3、溶存酸素量が7.5～8.1 mg/Lでした。
湾内の透明度は7.0～9.5mでした。
検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で6 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所又は水産試験場までご連絡ください。

水温と塩分(表1・2)

水温は15.4～16.2℃、塩分は34.2～34.3でした。
前回調査時(R4.12.12)と比較して、水温は全層で4.2～4.4℃低下しました。塩分は表層から2m層及び底層で0.1低下し、5m層及び10m層では前回と同様の値を示しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は7.5～8.1mg/Lでした。
前回調査時と比較して、全層で1.1～1.4mg/L増加しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は7.0～9.5mでした。
検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で6 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

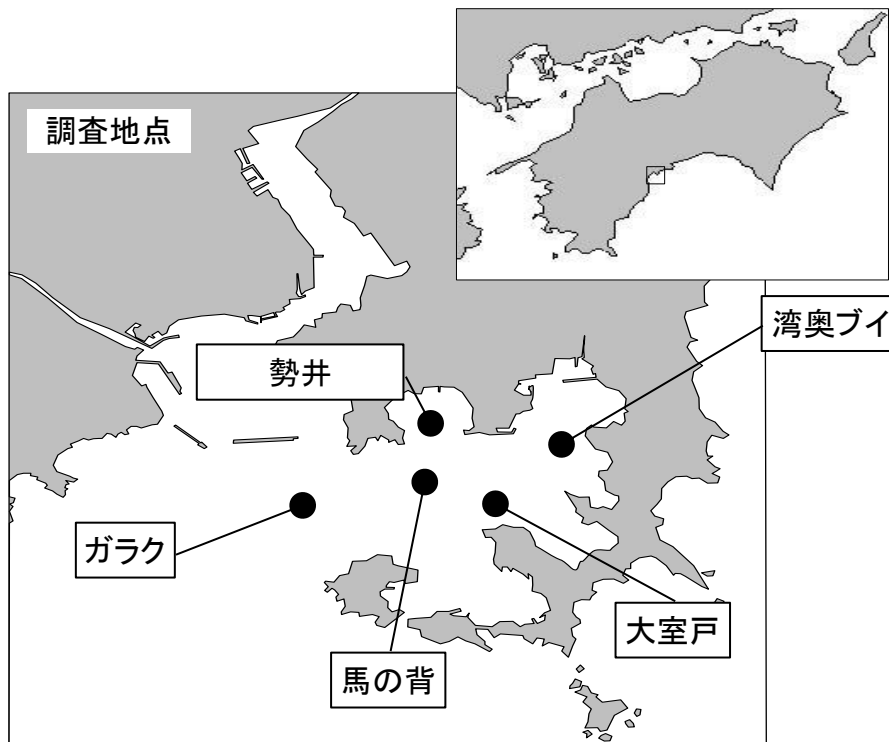


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.12.12)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	15.8	16.0	16.2	16.0	16.0	16.0	20.2	▲ 4.2
2m	15.8	16.0	16.2	16.0	16.0	16.0	20.2	▲ 4.2
5m	15.7	15.9	16.2	16.0	16.0	15.9	20.2	▲ 4.3
10m	15.6	15.8	16.2	16.0	16.0	15.9	20.1	▲ 4.2
B-1m	15.5	15.4	15.9	15.8	15.4	15.6	20.0	▲ 4.4

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.12.12)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	34.3	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.3	▲ 0.1
2m	34.3	34.3	34.2	34.3	34.2	34.2	34.3	▲ 0.1
5m	34.3	34.3	34.2	34.3	34.3	34.3	34.3	0.0
10m	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	0.0
B-1m	34.2	34.2	34.3	34.3	34.2	34.2	34.3	▲ 0.1

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R4.12.12)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	8.1	8.1	7.8	7.6	8.0	7.9	6.7	1.2
2m	8.0	8.0	7.8	7.5	8.0	7.9	6.5	1.4
5m	7.8	7.7	7.7	7.5	7.7	7.7	6.4	1.3
10m	7.7	7.7	7.5	7.5	7.7	7.6	6.4	1.2
B-1m	7.5	7.9	7.6	7.6	7.5	7.6	6.5	1.1

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	勢井
水深	17.7	23.1	17.3	21.0	15.5
透明度	7.0	8.5	9.5	7.5	9.0
前回(12/12)	6.6	8.5	12.0	8.8	8.5

表5 プランクトン(cells/mL)

調査地点	水深	アレキサンドリウム属	珪藻類
		湾奥ブイ	0m
湾奥ブイ	2m	0	10
	5m	6	8
	大室戸	0m	0
大室戸	2m	0	13
	5m	0	10
	馬の背	0m	0
馬の背	2m	0	9
	5m	0	6
	勢井	0m	0
勢井	2m	0	2
	5m	0	6
	ガラク	0m	0
ガラク	2m	0	5
	5m	0	5